

令和4年度 第6回仙台市立学校事務研究会役員会

日時：令和5年3月8日(水)13:45～

会場：仙台市民会館 第1会議室

1 開 会

2 会長挨拶

- ・公立高校入試、教育職の内々示が終わり、今年度の仕事を締める準備をする時期になった。地区研の2月研修会で異動事務・引継ぎについて研修を行っていると思うが、今後もサポートをお願いしたい。例年、年休簿やタイムカードがないといった電話をもらうことがあり、これらは年度内に作成する等、遺漏のないよう処理をお願いしたい。
- ・トルコシリア大地震から一ヶ月が経過した。先日、NHKで南海トラフ地震を題材にしたシミュレーションドラマが放送されたが、その中で後発地震注意情報により災害救助の派遣が見送られるという場面があった。1週間から10日、被災者同士で助け合いを行わなければならないことも想定される。国は学校に地域再生の起爆剤・地域のHUBとしての役割を求めている。地域と一緒に命を守るため、普段からの地域との連携協力が必要であり、学校の日比の在り方が大事だと思う。
- ・最近のニュース記事：埼玉で教員が、広島で中学校の生徒が切りつけられる事件等。
- ・人事課より情報：人事異動に伴う給与関係〆切は3月39日17:00まで。3月13日以降通知予定。
- ・人事課が勤怠システム導入を検討中。学校間連携総括班長より他都市の情報について提供依頼があったため、参考として提供した資料と同じものを添付した。

3 参与挨拶

- ・3月になり、これから忙しい時期に入る。3月で退職するが、35年の間、良い時も悪い時もあった。どの仕事でも同じであり、調子の悪い人がいるという前提で助け合い、困った状態にある人も続けられるような職場でありたい。事務職員も一人だが、話しやすい人に相談する等、心と体の健康に留意して勤めてもらいたい。また、組織として困ったことがあれば相談してほしい。

4 協 議

(1) 令和5年度総会計画について

①期間

- 4月6日(木) 紙面総会開催案内送信(C4th)
4月12日(水) 総会要項送信(C4th) 質問・決議受付開始(Google)
4月14日(金) 16時45分 質問受付締切
4月20日(木) 事務局回答送信(C4th)
4月21日(金) 決議受付締切
4月26日(水) 議事・決議確認会(市民会館)
4月27日(木) 承認報告送信(C4th)
⇒同日送信以降 各地区総会を適宜開催

②各部・各地区報告関係

- 総会資料関係：3月30日(木)まで 会長・各部長
予算決算関係：4月3日(月)まで 会計
議長関係報告：4月11日(火)まで 青葉・泉地区

③その他

(2) 令和5年度 夏期研修会・研究大会 研修内容について

①夏期研修会 令和5年8月23日(水) PM 会場 :

- ・日程は事務研修と同じ。
- ・研修Ⅰは学事課か学校施設課に依頼。学事課には新しい学校納付金取扱要領を学校で実施してみての疑問点・質問等のアンケートを会員からとり、それに答えていただく形式を考えている。学校施設課にはキントーンでの修繕依頼書の記入方法等の説明をしてもらう。
- ・研修Ⅱはグループワークを行いたい。会場はテーブルありの形が良い。
- ・参考のみとし、オンラインは実施しない。
- ・テーブルが使える会場を総務部長が探す(市民会館、エルパーク等)。

②研究大会 令和6年1月12日(金) PM 会場 :

- ・講演時間は最低でも100分(90分+質疑応答10分)必要。地区研の研究発表は75分(例年どおり)。受付の時間を13:15から15分繰り上げて13:00からとする。
- ・準備は午前中から行う。
- ・会場は戦災復興記念館。
- ・講演の講師はメールで問い合わせ中だが、手応えがあるのは2名(国立政策研究所 藤原文雄先生、(株)ワーク・ライフバランス 田川拓磨さん)。藤原先生は7年前にも来ている。
- ・研修部としては講演内容を「働き方改革」「効率化・スリム化」「チーム学校」をメインに講師を探した。
- ・オンライン併用とすると出席率は上がるが、講演料も上がる。オンライン環境の準備は総務・研修部が担当。講師にはオンラインの可能性があると伝えておく。
- ・例年は講演後に講師に残っていただき、研究発表の指導・助言をしていただいている(指導・助言の依頼はしていない)ため、青葉地区の発表内容と関連性のある話をしてももらうと良い。講師に発表内容の概要を事前に伝えておき、関連性のある話もしてもらえるように依頼する。
→青葉地区は研究概要資料を作成し、研修部長に送ること。

(3) 予算・決算について

- ・3月8日時点での決算報告、次年度予算であり、これから動きは入っていない。各部の決算報告がまだの場合は、会計に報告すること。
- ・助成金については使途が決まっているものがあるため、使用しなかったものについては返金する予定(弘済会に全額、互助会に一部)。旅費も計上できる経費だが、各部の部会出席旅費は計上していなかったため、来年度からは計上する。
- ・繰越金の金額等を考慮し、会費見直しの検討が必要。
- ・慶弔費の退会記念品について、各地区で自己都合退職者がいる場合は会計に報告すること。相当年齢に達している退会者については、例年どおり1万円を現金で贈ることとする。

(4) 研究会に関する意識調査について

スケジュール: 11月25日 発出(C4th個人連絡)

12月13日 ペ切 2月 8日 調査結果検討会開催

2月14日 役員会協議 3月 8日 役員会協議

3月17日 調査結果のみ公表(google)

- ・協議中 ※アンケート結果を3月中に送信する。

(5) その他

5 報 告

(1) 各地区報告

青葉地区

泉地区

太白地区

- ・3月9日の役員会で今年度の事業は終了。

若宮地区

- ・C4 t hで送った異動事務資料について、調研活動に活かすため意見をいただきたい（地区会長～）。

(2) 各部報告

総務部

広報部

研修部

- ・研究集録の業者見積もり合わせは研修部で担当する。過去の収録と同じ仕様（ページ数、カラーページ数等）で依頼する。

調査研究部

情報化推進部

会計

6 その他

次回役員会・・・令和6年 6月 8日（木）予定

7 閉 会（吉田副会長）

- ・来年度はコロナ明け、脱コロナを見据え、形を変えながら進めていく。また、研究会の新たな形を考える重責を抱えながらの活動となる。会員の意見に真摯に向き合い、これからの人達がどのような形を求めているかを考え、より良い形で進んでいけたら良い。